

報道関係各位
プレスリリース

2018年6月1日

日加修好 90 周年

林英哲 with 英哲風雲の会 カナダツアー

日程: 2018年8月10日(金)~25日(土)
場所: カルガリー、バンクーバー、オタワ、トロントの各都市を巡回
ツアーメンバー: 林英哲、英哲風雲の会(上田秀一郎、はせみきた、田代誠、辻祐)



国際交流基金では、日本とカナダの修好 90 周年を記念し、和太鼓奏者の第一人者である林英哲氏によるカナダツアーを 2018 年 8 月に開催します。

林氏は現在の和太鼓界の伝説ともいえる存在であり、今回は林氏の元集った次世代の和太鼓奏者たちによるユニット「英哲風雲の会」と共に、カルガリー、バンクーバー、オタワ、そしてトロントの各都市において記念コンサートを行います。

和太鼓奏者として常に最前線で活躍し続けているアーティストによる独創的なコンサートを、カナダの多くの人々に見て頂ける大変貴重な機会となります。この機会にぜひ貴媒体でもご紹介頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ツアー日程

日程	都市	会場
8月10日(金)	カルガリー	Studio Bell National Music Centre
8月15日(木)	バンクーバー	Telus Theatre at Chan Centre
8月20日(日)	オタワ	Canadian Museum of History
8月22日(水)	トロント	Japanese Canadian Cultural Centre

※この他、8月11日(土)にはカルガリー市の Max Bell Centre で開催される「Calgary Japanese Festival “Omatsuri”」、8月25日(土)にはミシサガ市の Celebration Square で開催される「Japan Festival Canada」へも特別出演します。

Eitetsu Hayashi 林 英哲



「佐渡・鬼太鼓座」「鼓童」の創設に参加。11年間のグループ活動の後、1982年ソロ活動を開始。1984年、初の和太鼓のソリストとしてカーネギー・ホールにデビュー。現代音楽の分野でも国際的に高い評価を得た。2000年にはドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演、2万人を超える聴衆を圧倒させた。

日本はもとより全世界での交響楽団と共演多数。日本の伝統にはなかった大太鼓ソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作など、前例のない太鼓ソリストという分野を開拓し、新しい音楽としてのオリジナルな太鼓表現を築きあげている。国際友好・交流年には、外務省・国際交流基金・文化庁などから日本の太鼓音楽、文化紹介のための大型派遣も多い。国境、ジャンルを越えて今なお新たな創作活動

に取り組み、広く国内外で活躍中。2016年は演奏活動45周年、17年はソロ奏者として35周年を迎えサントリーホールで記念公演を開催した。

創作太鼓のための委嘱作品なども多く作曲、指導、CD、DVD、ビデオ多数。著書に、増補新装版「あしたの太鼓打ちへ」(羽鳥書店)2017年10月発売。書き下ろし自伝「太鼓日月～独走の軌跡」(講談社)、その他雑誌等に原稿掲載多数。97年芸術選奨文部大臣賞、01年日本伝統文化振興賞、2017年松尾芸能賞大賞を受賞。東京藝術大学客員教授、筑波大学大学院非常勤講師。

<http://www.eitetsu.net/>

EITETSU FU-UN no KAI 英哲風雲の会



日本各地で活躍する若手太鼓奏者の中から、林英哲の音楽に共鳴する実力者が揃う太鼓ユニット。1995年、林英哲作曲の大太鼓合奏曲『七星』の演奏のために結成。その後、林英哲コンサートのアンサンブルメンバーとして活動する他、独自の演奏活動も行う、いずれも次世代を担う俊英たちである。2007年は林英哲ソロ活動25周年記念公演でオーケストラとの初共演を果たし、その後もドイツをはじめ海外でも林英哲と共にオーケストラと共演している。2012年、国立劇場主催『日本の太鼓』公演で、林英哲監修の元、『光の群像』と題しメンバー創作曲中心でトリを務めるなど、「英哲風雲の会」単独で国内外で活動の場を広げ、その圧倒的な迫力とライブパフォーマンスは大反響を呼んでいる。今回のツアーにはメンバーの中から、上田秀一郎、はせみきた、田代誠、辻祐が参加する。



本事業に関するお問い合わせ、取材・広報用画像に関するお問い合わせ：

齋藤雅広

国際交流基金トロント日本文化センター

TEL : 416-966-1600 (内線 228)

E-mail : msaito@jftor.org

以上